

教えてJAさん！Q&A

Q

子どもの将来や自分の老後を考えると、お金が足りるか不安です。今からできる対策はありますか？

(津市 30歳・女性)

毎月少額でもよいので、貯金だけでなく積み立ててお金を増やすことを意識しましょう。

A

インフレで家計の負担が増しているのに、貯金の利子は雀の涙……。貯金ばかりしていても、徐々にお金の価値は目減りしてしまいます。教育費や老後資金などの将来資金を準備するなら、増やすことが期待できる投資信託で資産運用するのがおすすめです。例えば、Aさん家族で考えてみましょう。

例 Aさん家族(持家・車あり)

Aさん(30歳・専業主婦)

夫(31歳・会社員)

長男(2歳)、長女(0歳)

月収(手取り) 30万円

・支出 28万円

・貯蓄 2万円

貯金から資産運用へ

Aさんが続けている月2万円の貯金のうち、1万円を投資信託の積立てに回すのもよいでしょう。

国は資産運用をサポートするため、NISAやiDeCo(個人型確定拠出年金)といった非課税制度を設けています。通常、投資で得た利益は約20%の税金が引かれますが、これらの制度を利用することで、投資で得た利益が非課税になります。

2つの制度の大きな違いは、払い出しが可能となる年齢です。いつでも払い出し可

自分に合った資産運用のスタイルを選ぼう

Aさんの1万円の積立投資は、教育費としてNISA、老後資金としてiDeCoに5000円ずつ、と目的別に積み立てるのもよいでしょう。また、ボーナスがあるご家庭なら、毎月2万円をNISAやiDeCoで積み立て、ボーナス分を貯金に回すのもよさそうです。なお、車の買い換えといった近い将来に必要な資金は貯金が安心です。

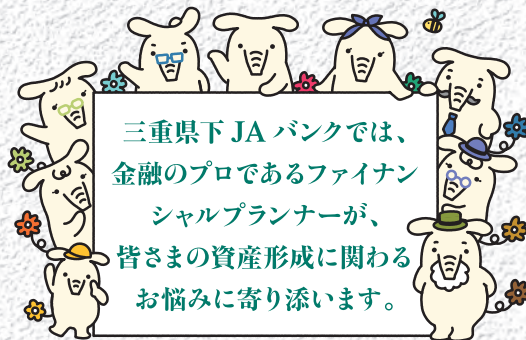
特にNISAは、2024年1月から新NISAへと一新し、非課税枠が拡大することから関心をもつ人が増えていきます。詳細は、お近くのJAまでご相談ください。

資産形成のこと お気軽にご相談ください!!

投資信託とは?

老後2,000万円問題とは?

NISA、iDeCoとは?



※三重県下JAでは、投資信託を販売しています。
JA みえきた / JA 鈴鹿 / JA 津安芸 / JA みえなか / JA 多気郡 / JA 伊勢 / JA いがふるさと
※悩みごとがあれば、お近くのJAまでご相談ください。